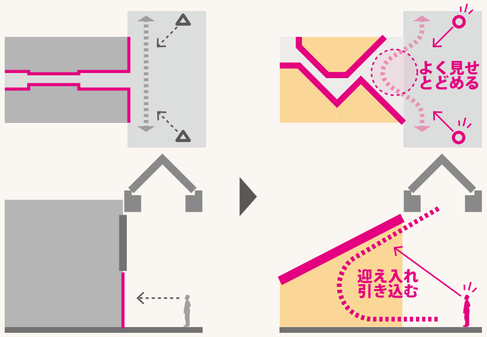
人々が紡ぐ木組みの社

未来への挑戦を見守る相持ち構造の木組み
餅飯殿NEXT+

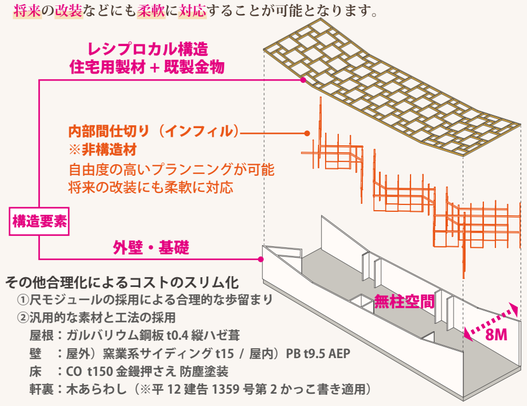
1 人を惹きつける仕掛け：ジグザグの構成
人々がとどまり、引き込まれ、お店とふれあう

「もちいどのセンター街」は高さがあり、幅は狭いアーケードで構成されています。人々がとどまる場所が少なく、狭い間口のお店を通り過ぎてしまうことが多い印象です。本提案ではジグザグの構成を用いて建物を計画します。センター街と駐車場に対して建物の正面を斜めに構成することにより、離れたところからでもお店がよく見えるようにするとともに、人々のとどまる居場所を生み出し建物へと引き込みます。内部のテナントもジグザグのプランとすることで、お店が見える面積を最大化しながら、路地のような奥へといざなうワクワク感を演出します。屋根は高さを生かした、迫力のあるものとしながらも、斜めにすることで人々を迎え入れる暖かさを生み出します。



2 合理的な構造計画：木造レシプロカル構造
住宅用材による経済性のある無柱空間 / 自由な平面計画

レシプロカル構造を採用することで、一般市中品の住宅用製材と既製金物のみで、経済性を担保しながら間口8mの無柱空間を実現します。外壁部に水平耐力を負担させることにより内部間仕切りは非構造材の独立したインフィルとして構成することが可能となります。そうすることによって、間仕切りは造作材寸法としてコストを低くするとともに、テナントにとっては自由度の高いプランニングが可能となります。将来の改装などにも柔軟に対応することが可能となります。



その他合理化によるコストのスリム化
①尺モジュールの採用による合理的な歩留まり
②汎用的な素材と工法の採用
屋根：ガルバリウム鋼板 t0.4 縦ハゼ葺
壁　：屋外）窯業系サイディング t15 / 屋内）PB t9.5 AEP
床　：CO t150 金鏝押さえ 防塵塗装
軒裏：木あらわし（※平 12 建告 1359 号第 2 かっこ書き適用）

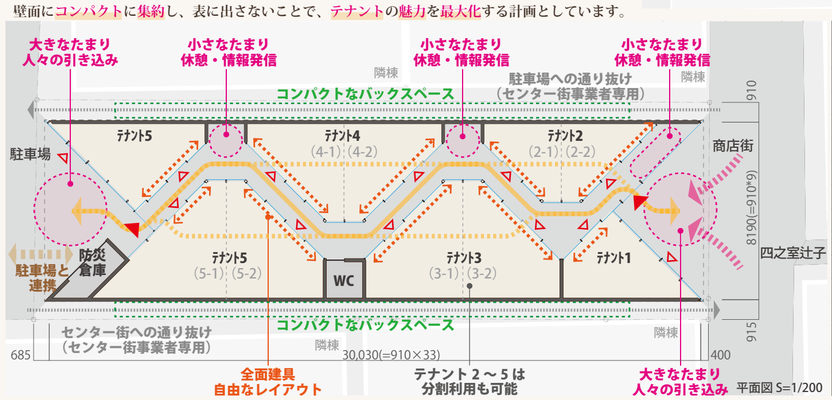
3 人々が紡ぐ餅井殿の社：名前が刻まれた相持ちの木組み
歴史に連なる挑戦を見守る団結の象徴 / 日本の和の精神の体現

レシプロカル構造はどれか一つの部材が欠けても成立しない相持ち構造です。構造をあらわしとし、テナントを包み込むことによって、「もちいどのセンター街」の人々が支えあいながら新たな挑戦を見守る姿を象徴的に表現しています。木組みには組合員の方の名前を刻み、自身が関わった証を目に見える形とすることで、将来のにわたって愛着と誇りのよりどころとなることを考えます。
かつて人々が私財を持ち寄り建築された古の寺社仏閣といった、歴史的文脈に連なる新たな木組みの建築（餅井殿の社）として地域の誇りと団結の象徴として長く人々に愛されることを願っています。

4 特徴を引き出す平面計画：小さなたまりと全面建具
様々な居場所と体験 / 魅力の最大化とバックスペースの集約

駐車場とセンター街の両面に大きなたまりを設け、人々を惹きつける建物のファサードを構成します。内部のジグザグの屈曲部に生まれる小さなたまりは、休憩スペースや情報発信・展示の場となります。テナントと廊下の間仕切りは全面を建具で構成することで入口位置を自由に調整することができ、レイアウトの自由度を高めます。テナントの通り抜けなどによってジグザグ以外の人の流れが生まれ、多様な体験が生まれることを意図しています。裏方の室外機・電気メーター・換気扇などは南北の外壁面にコンパクトに集約し、表に出さないことで、テナントの魅力を最大化する計画としています。

配置・屋根伏図 S=1/500



平面図 S=1/200

面積表		
延床面積	209.92	m2
テナント合計	157.61	m2
テナント率	75.08	%
テナント1	15.71	m2 分割利用の場合
テナント2	20.16	m2（10.29+9.87）
テナント3	37.14	m2（18.57+18.57）
テナント4	28.86	m2（14.43+14.43）
テナント5	38.79	m2（18.57+20.22）
テナント6	16.95	m2
その他合計	52.31	m2
身障者用WC	3.31	m2
防災倉庫	4.14	m2
廊下	44.86	m2
建築面積	231.57	m2
建ぺい率	74.09	%

大らかな木組みと緩やかな勾配屋根が、人々をあたたかく迎え入れる / 斜めに控えたファサードに人々が集い、建物へ引き込まれていく

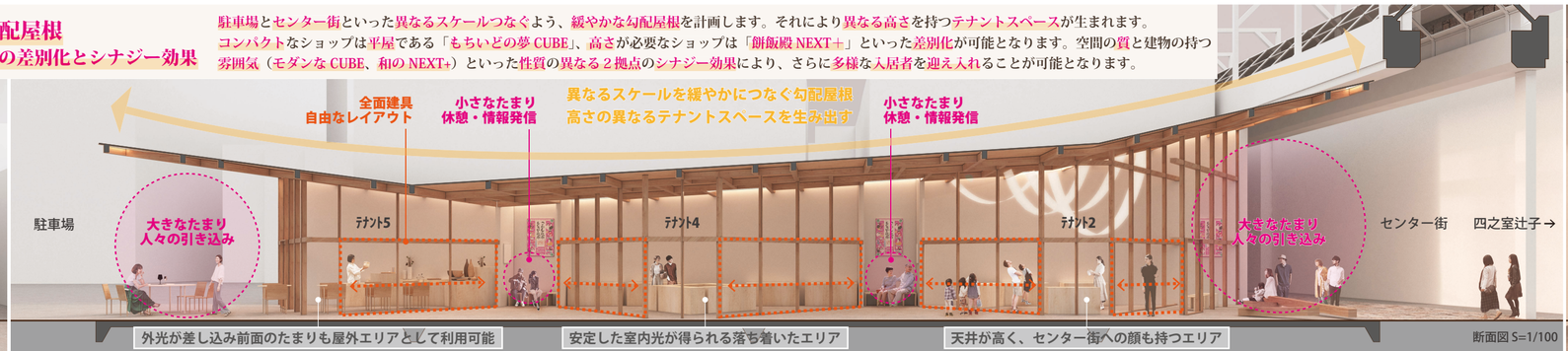
テナント越しに反対側が見通せる / 多様な人の流れは様々な発見と交流を生み出す

遠くからもよく見えるファサードはアイコニックな地域の象徴となる

5 スケールをつなぐ断面計画：緩やかな勾配屋根
高さの異なるテナント / もちいどの夢 CUBE との差別化とシナジー効果

駐車場とセンター街といった異なるスケールつなぐよう、緩やかな勾配屋根を計画します。それにより異なる高さを持つテナントスペースが生まれます。コンパクトなショップは平屋である「もちいどの夢 CUBE」、高さが必要なショップは「餅飯殿 NEXT+」といった差別化が可能となります。空間の質と建物の持つ雰囲気（モダンな CUBE、和の NEXT+）といった性質の異なる２拠点のシナジー効果により、さらに多様な人居者を迎え入れることが可能となります。

駐車場側立面図 S=1/100



断面図 S=1/100

商店街側立面図 S=1/100